

2011

地歴最新資料

第13号 (2011年4月25日現在)

INDEX

2010年5月～2011年3月のおもなできごと・TOPIC! 2

世界史

授業実践例

「世界史A」生徒の関心を高める授業の工夫

～古代・中世ヨーロッパ史編～ 3

岐阜県立岐阜工業高等学校教諭 川井 正士

① どうなる？アラブ諸国で拡大する反政府デモ 5

日本史

授業実践例

歴史の『現場』に立つ日本史学習の展開

～「史蹟論」にふれて～ 6

香川県立高松工芸高等学校教諭 山本 秀夫

② 東北地方太平洋沖地震と東北地方の地震 8

地理

海外報告

モーゼル・ライン河谷とワイン醸造 9

山梨県立富士河口湖高等学校教諭 小佐野 淳

③ 東北地方太平洋沖地震
～モーメントマグニチュード9.0 11



第一学習社

2010 年 5 月～2011 年 3 月のおもなできごと

(注)○内の数字は月を示す。下線部①～③は解説の掲載を示す。

政 治	社会・文化	国際情勢
2010 年 ⑤18 日、宮崎県が口蹄疫の感染拡大で非常事態宣言を発令。19 日、政府は牛や豚約 20 万 5,000 頭の殺処分を決定。8 月 27 日、終息宣言。 ⑥4 日、鳩山内閣総辞職。 ⑥8 日、菅内閣発足。 ⑦11 日、参議院議員選挙で民主党が大敗し、再び「ねじれ国会」に。 ⑦17 日、家族の承諾のみで臓器移植が可能となる改正臓器移植法が施行。 ⑨7 日、尖閣諸島沖の日本領海内で、中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突。中国漁船船長を逮捕。 ⑩25 日、インドとの経済連携協定(EPA)に合意。 ⑪16 日、横浜地裁で裁判員裁判による初の死刑判決。 ⑪30 日、新常用漢字表、内閣告示。 2011 年 ①14 日、菅改造内閣発足。 ②14 日、内閣府が 2010 年の日本の名目国内総生産(GDP)を発表。中国のGDPを下回り、世界3位に後退したことが確定。 ③11 日、東北地方太平洋沖地震により、福島第一原子力発電所1～3号機の緊急炉心冷却装置用の電源が故障したことをふまえ、政府は原子力緊急事態宣言を発令。	2010 年 ⑤1 日、上海万博開幕。 ⑥11 日、サッカーワールドカップ南アフリカ大会開幕。アフリカでの開催は初。 ⑥13 日、小惑星探査機「はやぶさ」帰還。 ⑧1 日、ユネスコは、マーシャル諸島のビキニ環礁実験場ほか21件を世界遺産に認定。 ⑧6 日、広島市での平和記念式典に国連事務総長や米・英・仏の大使らが初出席。 ⑨9 日、奈良県の明日香村教育委員会が、牽牛子塚古墳が7世紀後半の八角形の古墳であることが確認されたと発表。 ⑨11 日、GPSの精度向上をめざす準天頂衛星「みちびき」の打ち上げ成功。 ⑩6 日、鈴木章さんと根岸英一さんがノーベル化学賞受賞。 ⑩21 日、羽田国際空港新国際線ターミナル開業。 ⑩25 日、奈良県の元興寺文化財研究所が、明治時代に東大寺大仏殿で出土した太刀2本が、所在不明だった正倉院の宝剣であると発表。 ⑫15 日、絶滅したと思われていた魚クニマスの生息を70年ぶりに確認。 2011 年 ①26 日、鹿児島・宮崎県境の新燃岳が噴火。 ③5 日、東北新幹線「はやぶさ」運行開始。12日、山陽・九州新幹線「みずほ」「さくら」運行開始。 ③11 日、 <u>②③三陸沖を震源とする、マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震発生。10m以上の津波が押し寄せ、三陸沿岸を中心に甚大な被害。</u>	2010 年 ⑤6 日、イギリス総選挙で保守党が第一党に。 11 日、保守党のキャメロン党首を首相とする保守党・自由民主党による連立内閣成立。 ⑧1 日、クラスター爆弾禁止条約発効。 ⑨16 日、ローマ教皇ベネディクト 16 世がイギリスを公式訪問。教皇の公式訪英は、16 世紀のイギリス国教会設立以来初。 ⑩11 日、生物多様性条約第 10 回締約国会議(COP10)が名古屋で開催。30 日、名古屋議定書などを採択し、閉幕。 ⑩12 日、アメリカが米臨界核実験を9月15日に実施していたと発表。 ⑩13 日、8月5日に発生したチリ鉱山落盤事故から69日ぶりに、作業員33人全員を無事救出。 ⑪13 日、ミャンマー民主化運動指導者アウン＝サン＝スー＝チーの自宅軟禁解除。 ⑪23 日、北朝鮮が韓国延坪島に砲撃。 2011 年 ①14 日、 <u>①チュニジアで全国に広がった反政府デモにより、ベンアリ大統領が亡命、独裁政権崩壊。</u> ②7 日、スーダン南部の分離・独立を問う住民投票の結果、7月の独立が決定。 ②11 日、エジプトのムバラク大統領、退陣を求める反政府デモにより辞任。14日、反政府デモは周辺の中東諸国に拡大。 ②22 日、ニュージーランド南島・クライストチャーチ付近でマグニチュード6.3の大地震発生。 ③19 日、反体制派との対立を続けるリビアのカダフィ政権軍の施設や車両に多国籍軍が空爆。

TOPIC!

●日独交流 150 周年 世界史 日本史

1861(万延元)年に江戸幕府とプロイセン(現ドイツ)との間で修好通商条約が締結されてから、2011 年で 150 年になる。明治日本は法制・軍事・科学・芸術など様々な分野でドイツを模範として近代化をすすめ、バルツ(医学者)やナウマン(地質学者)ら多数のドイツ人が招かれた。第一次世界大戦では両国は敵対したが、捕虜になったドイツ兵が徳島県の坂東俘虜収容所でベートーヴェンの第九を演奏して住民と交流したエピソードは、両国の交流の一例として語り継がれている。

●キトラ古墳ではぎ取り作業終了 日本史

2010 年 11 月 25 日、文化庁は、奈良県明日香村のキトラ古墳でおこなわれていたはぎ取り作業がすべて終了したことを発表した。はぎ取り作業は、2004 年 8 月から開始され、2008 年 11 月までに確認されるすべての壁画のはぎ取りが終了し、以降、壁画周辺の余白部分のはぎ取りがおこなわれていた。6 年 3 か月にもおよぶ作業で、はぎ取られた部分は 1143 片におよぶ。今後はこの壁画片の修理がおこなわれ、最終的には元のように石室内に戻すことが検討されている。

●世界中からの支援と日本の国際緊急援助隊 地理

2011 年 3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震以降、142 か国・地域が支援を表明している(4 月 25 日現在)。「トモダチ作戦」と名づけられた救援活動をおこなうアメリカや、100 億円以上の義援金が集まっている台湾など、世界中から支援を受けている。日本もまた、1987～2010 年の間に 108 もの国際緊急援助隊を世界各地に派遣している。援助隊は、救助チーム・医療チーム・専門家チーム・自衛隊部隊からなり、被災国の要請に応じてチームを単独あるいは複数派遣する。

●はじめに

本校は、「ものづくり」、「資格取得」、「部活動」で日本一を目指している、8学科(9学級)、総定員1,080人の活気ある高校である。前任校(いわゆる進学校)では、大学合格を目指して「世界史B」は8単位履修(2・3年継続)であったが、本校では「世界史A」の2単位を履修する。したがって、授業の内容が希薄となるように感じられるが、実際の授業においては、「木は見えないが森が見える」授業であると実感している。すなわち、センター試験用語集のような授業をする必要もなく、地形を大雑把に鳥瞰するが如き授業、歴史事象の因果の根幹を把握する授業ができる。もちろん、2単位という制約があるので、内容については十分な精選が要求されるが、その際に、決して地域や時代が偏らないように配慮している。つまり、古代・中世史にもある程度のウエイトをかける。その理由は、現代文明の基礎のほとんどが、この時代に確立されているからである。しかし、ただ通史的な授業に終始しては生徒の興味・関心を高める授業とはなりえないので、身近な教材を発掘し、現在の生活に役立っていると実感させられるように授業の内容を工夫している。

今回、このような私の拙い授業の一端を紹介する機会を得たので、「古代・中世ヨーロッパ史編」と題して、現場報告をさせていただく。なお、以下の内容は、あくまでも生徒向けなので、先生方にとってはご承知のものばかりと思うが、「生徒の関心を高める授業の工夫」としての内容の紹介という意味合いで、ご理解いただけると幸甚の至りである。

●実践例

①ギリシア人の世界

◆アキレスの誕生時、不死身になるおまじないにと、母は冥界の河に彼の全身を浸したが、母がつかんでいた足首は水に浸からなかったため、そこが唯一の弱点となった。トロイア戦争にスパルタ軍の一員として参加した彼は、足首に矢が当たって戦死した。本校剣道部顧問は、練習中にアキレス腱を切り、離任式の折に「アキレス腱だけは気をつけて」と挨拶した。

◆「万物の根源は水」と主張したタレスは、「三角形の相似」の考えを使い、ピラミッドの高さを測定した人物でもある。また、「直径に対する円周角は、直角である」というのも彼の発見である(「タレスの定理」)。自然哲学者タレスは、数学上も大きな貢献をしているのだ。

◆「黄金比」を初めて意識したのは、エウクレイデスだとさ

れる。「ミロのヴィーナス」や「パルテノン神殿」にもこの「黄金比」が使われていることは、数学の教科書にも紹介されているが、現代でも名刺・テレホンカード・新書本・道路標識などに利用されている。不思議にも、アゲハチョウやバイ貝にも「黄金比」部分がある。

◆「万物の根源は数」としたピタゴラスが、「三平方の定理」の発見者として有名なのは、よく知られているところだが、彼が「音階の製作者」であることを知る人は極めて少ない。「ド・レ・ミ・ファ・・・」という音階を、彼が製作してくれたからこそ、我々は「楽しい音(音楽)」を鑑賞できる。開放弦の音が「ド」の場合、ちょうど半分の所を押さえて弾くと、1オクターヴ高い音「ド」が出る。また、3分の1の箇所を押さえて長い方を弾くと「ソ」が出る。「音も整数で表すことができる」ということだ。

②ヘレニズム

◆アルキメデスが、純金の王冠の真贋を見抜いたことは、科学本にもよく紹介されているが、それが「浮力の原理」の発見の瞬間である。他にも彼は、ローマとの戦いの中で、「てこの原理」を応用した投石器や、太陽の光線を集めて軍船を炎上させる大凹面鏡も作製した。彼の考えについて我々は学校で学習するが、古代こそ現代の学校である。

◆エラトステネスによる地球の大きさの測定も、「三角形の相似」を利用したものである。この方法で、誤差わずか20kmという、極めて正確な測定を成し遂げた。この時代の文化水準の高さには、大いに感心させられる。

③ローマ帝国とキリスト教

◆ギリシア文字の α ・ β が語源の「アルファベット」は、ラテン語表記用に改良された。当初はJ・U・Wがなく、Vを[ヴ]・[ウ]の両方に使った。ブランド名BVLGARIのBVを[ブ]と読んでいるのが、その好例である。また、Vを2つ重ねたWは、「ダブルV(ダブルユー)」となる。BVLGARIの時計などを見る時は、要観察!

◆ヌマ暦の改暦の時に、11月のJanuarius(ヤヌスは入口神)は1月(1年の入口)に、それに連動して12月のFebruariusが2月、その他の月は2カ月ずれた月となった。本来は「8」を意味するoctで始まるOctoberが、10番目(10月)になってしまったのは、わかりやすい例である。その他の月名についても、本来の意味を考えてみるとよい。

◆「豚に真珠」、「砂上の楼閣」、「目からうろこ」といった慣用句は、『新約聖書』から出た言葉だと知れば、意外と『新約聖書』も身近に感じられる。また、『旧約聖書』の「サムソン&デリラ」で、サムソンは自分の怪力の秘密が長

髪にあるとデリラに教えてしまうが、岐阜市内の美容院が「サムソン&デリラ(S+D)」という看板を掲げているのも、よく見かける光景である。この美容院に行く機会があったら、ぜひ美容師の方と店名の由来について話題にし、世界史談義に花を咲かせてほしいものだ。

◆269年2月14日、ローマ皇帝が兵の結婚を禁じた。その命に反対した聖ヴァレンティンを皇帝が処刑したが、人々はこの日を「聖ヴァレンティンデー」として祝福した。男性から女性にチョコレートを贈る習慣が、19世紀後半の英国で始まったということだが、現在の日本の一大行事、女性から男性にチョコレートを贈るというのは、1936年、モロゾフ洋菓子店が最初に仕掛けたとか。チョコレートを食べる歴史が好きになれば、聖ヴァレンティンも本望！

◆トラヤヌス帝の時に「ダキア」が併合され、ローマ帝国の領土は最大となったが、この「ダキア」が「ルーマニア」と名乗るようになる。Romania とつづれば、そこに Roman があることに気づく。すなわち、「ローマ人の国」というのが「ルーマニア」の意味である。しかも、ルーマニア語はラテン系言語に属することも、極めて理解しやすい。

④中世ヨーロッパ世界

◆ヨーロッパの先住民とされるケルト人。先住民だけに、多くの場所に彼らは名を付けた。alp(高い)→アルプス、pen(突出点)→アペニン、dur(水)→ドーバーなどが好例で、パリ、ロンドン、ベルギーは、ケルト系部族名が由来だ。また、スコットランドやアイルランドもケルト人の居住地として知られ、マクドナルド(Mc Donald)やマッカーサー(Mac Arthur)といった著名人もケルト系だ(Mc や Mac は、「息子」。「名は体を表す!」)。Celtic(ケルト人)は、ふつう「ケルティック」と発音するが、「セルティック」と読む場合もある。中村俊輔選手が所属した、スコットランド西岸グラスゴーを本拠地とするサッカーチームの名が「セルティック」だ。

◆ゲルマン系のアングロ=サクソンがブリタニアに侵入し、後にイングランドを建国するが、Angle's land→Englandだと気づけば、ドイツ語(低地ドイツ語)が英語の母胎だと理解できる。Wednesday, Thursday, Friday がゲルマン人の神の名に由来することも、当然理解しやすくなる。

◆「ノルマン征服」は、「英語史上最大の事件」といえる。単純に、このできごとがノルマン(北方ゲルマン)によってなされたと考えると間違いで、フランス化したノルマン人がイングランドを征服したと理解すれば、なぜ英語の中に多くのフランス語が混入したかがわかる。食用の去勢牛 steer が料理されて beef(仏語)に、飼育豚 pig も料理されて pork(仏語)になる。sauce, toast, castle, prison などとも元来フランス語である理由を考えれば、「ノルマン征服」が「英語史上最大の事件」だとされる意味が理解できる。

なお、フランス語 respect の意味をイングランドの人々に理解させるために、look up to という英語で表現したが、これが受験生泣かせの熟語の始まりだそうだ。これと逆の despise(「軽蔑する」「見下す」)について考えてみると、さらに理解が深まる。(答: look down on)

◆我々が「イギリス」と呼ぶ国が、4地域の連合王国だということは、すでに中学校でも学んでいることで、例えば、2010年のサッカーワールドカップのヨーロッパ予選では、「イギリス」から4チームが出場し、本戦には「イングランド」のみが出場している。もし、2チーム以上が予選を通過すれば、本戦で「イギリス」同士が戦うこともある。1998年には、「イングランド」と「スコットランド」の2チームが本戦出場を果たした実例がある。この例でも、「イギリス」という国の事情がわかる。それでは、2012年にロンドンで開催されるオリンピックのサッカーには、「イギリス」としてどんなチーム編成をするのか。これも「イギリス」という国について考えるうえで、最適の教材といえる。(答:「イギリス」は「イングランド」単独チームで出場)

◆スラヴ人は、中世西欧において「奴隷」とされたが、西欧では彼ら「奴隷」を民族名そのまま Slav とよんだ。英語で習う slave の語意は、これに起因する。

◆トマス=アキナスは、「スコラ哲学」の大成者だが、この「スコラ」の語源はギリシア語の skhole(余暇)であり、「余暇」を善用する場所が schola(学校)である。ゆえに、school は「余暇の善用」がなされるべき場所である。

◆『アーサー王物語』に登場する「エクスカリバー」は、ゲームソフト「ファイナルファンタジー」の中の聖剣名に使われている。それくらい有名で、最強の聖なる剣である。実は、♠のマークも剣をデザイン化したものらしい。

◆ゴシック式の特徴に「ステンドグラス(stained glass)」があるが、これは「着色された(stained)ガラス」である。この stain に less(～がない)が付くと、「着色されていない」「よごれのない」という意味になる。ところで、stainless は日本語(カタカナ)では、どのように表記されているか。(答: ステンレス)

●おわりに

以上が、私の授業「世界史A」の現場で用いている授業ネタの一部である。授業を受けた生徒達が、これらの授業内容を家族や他校生にも語って、とても喜ばれたと聞いて、自分の授業方法が「生徒の関心を高める授業」になり得ていると自負している。他に、もっと良い授業ネタがあれば、ご教示願えるとありがたい。

自分では「総合的な学習」の実践者と自負しているが、生徒達が少しでも授業内容に興味を示し、自ら考える力を養ってくれるように、日々授業ネタを模索している。

どうなる？アラブ諸国で拡大する反政府デモ

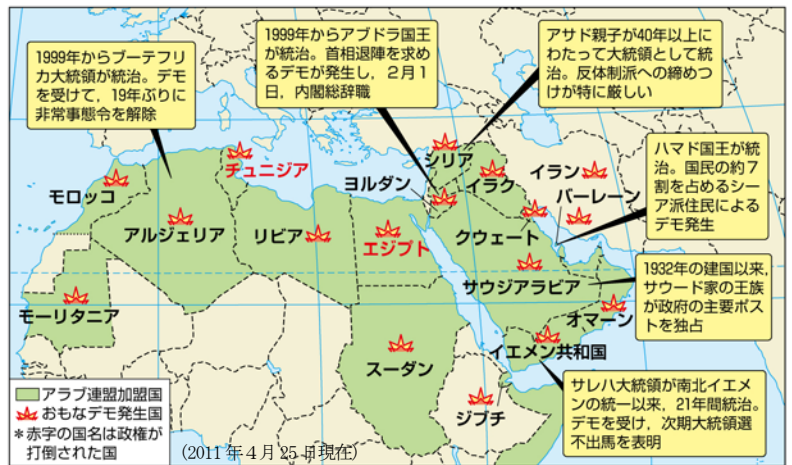
2010 年末、チュニジアで、職がなく路上で野菜を売っていた若者が警察の摘発を受け、抗議の焼身自殺を図ったことを契機にデモが発生。インターネットや携帯電話でデモの情報がやりとりされて参加者は増加し、2011 年 1 月 14 日、23 年間にわたって政権を握ってきたベンアリ大統領は退陣に追い込まれた。国を代表する花であるジャスミンにちなんで「ジャスミン革命」と名づけられたこの政変は、チュニジアと同様に、国民の政治参加が遅れ、高い失業率や貧富の差の拡大など様々な社会不安を抱える周辺諸国に一気に波及した。

●「アラブの盟主」エジプトの政変

エジプトでは、1981 年に、サダト大統領暗殺を受けて、当時副大統領であったムバラクが大統領に就任し、以降 29 年間にわたって政権を握ってきた。その間、自身が出した非常事態令を継続して、集会や言論の自由を厳しく制限し、野党の政治活動を抑えつけてきた。一方でイスラエルや欧米とは良好な関係を築き、欧米側も中東の安定化のために強い政権を望んだことから、民主化の遅れには目をつぶってきた。政治的自由がないことに加え、石油や天然ガスの産出量も少ないエジプトでは、1 人当たり国民総所得は、アラブの産油国であるサウジアラビアの 10 分の 1 程度しかない。失業率は高いままで、貧富の差は拡大しており、物価の上昇が人々の生活を圧迫していた。チュニジアの政変を受けて、鬱積していた民衆の不満が一気に爆発し、2 月 11 日、ついにムバラク大統領は退陣に追い込まれた。

●アラブ諸国に拡大した反政府デモ

アラブ諸国のなかで最大の人口を抱え、「アラブの盟主」とされてきたエジプトで政権が打倒されたことは、各国の反政府デモを後押しした。同じく長期独裁政権が続くリビアやイエメン、シリアでもデモが拡大した。ハマド国王を始めとして少数派のスナ派が実権を握ってきたバーレーンでは、多数派のシーア派住民が宗派間の平等を求めてデモを開始し、王家打倒の声も挙がっている。サウジアラビ



アでも少数派のシーア派住民によるデモが発生した。

拡大するデモに対し、各国でデモ参加者と治安部隊との衝突が相次ぎ、死傷者も出ている。政権側も反政府側との対話を進めたり、譲歩策を示したりして、背景にある不満解消に向けた取り組みを急いでいるが、終息の見通しは立っていない。一方、チュニジアやエジプトにおいても、長期独裁政権下で有力な野党が育っていないことから、民主政権確立までの道のりは困難が予想されている。また、イスラーム原理主義政党の台頭を懸念する声も挙がっている。

●緊迫状況がづくリビア

1969 年のクーデタ以降、最高指導者のカダフィ大佐が 41 年間にわたって政権を握っているリビアでは、カダフィ退陣を求める反政府側と政権側との衝突が続いている。政権側は反政府側への武力弾圧を行い、市民にも多数の死傷者が出ている。この武力弾圧を阻止するため、3 月 19 日には、米・英・仏などからなる多国籍軍が政権側の軍隊・施設への空爆を開始した(31 日、空爆の主導権は北大西洋条約機構(NATO)に移行)。4 月 10 日には、アフリカ連合(AU)が和解案を示したが、反政府側はカダフィ退陣が実現するまでは停戦に応じないとしてこれを拒否、事態収拾の目処は立っていない。産油国リビアの情勢は世界経済に与える影響も大きく、また、衝突が長期化すれば犠牲者が増大することは必至であり、一刻も早い解決が望まれる。

解説①に関連するホームページのURL

外務省－各国地域情報◆<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>

各国の基礎データや最近の情勢、日本との関係などについての情報を掲載。

●はじめに ～教科書へのまなざし～

日本史の授業は、「教科書を教える」のではなく、「教科書で教える」ことが大切だとずっと考えてきました。しかし、最近、「教科書を教える」ことも非常に大切であると考えようになってきました。それは、日本史を学ぶ生徒にとっての教科書はやはり歴史そのものであると思うからです。上記の考えを具現化していく際の、私なりの2つの視点を提示させていただきます。一つは、生徒と教師が歴史の『現場』に立つことを大切にしたいこと、もう一つは、「旧跡の保存」という点から、その『現場』を見ていきたいということです。

なお、本実践は昨年3月まで勤務していた香川県立坂出高等学校で実施したものであることとお断りしておきます。

●地域史の重要性

日本史学習において地域史の学習は不可欠だと思います。それは、のちに歴史的とされる事件・事柄が起り、また、のちに歴史上の人物として特筆される人物が活動した場所が全国各地の「地域」にあり、それらの事象が整理されて「全国」史が描写され、その成果が教科書となって生徒の前に現出してくていると考えるからです。その発端となった「地域」が生徒にとっての、歴史の『現場』そのものであり、そこに生徒自身が立つことの意義は日本史学習において限りなく大きいと考えます。『高等学校学習指導要領解説 地理歴史編(日本史B)』(平成21年12月)でも、「地域社会の歴史と文化の学習について」という箇所では、「…今回の改訂では、諸資料に基づく日本全体の歴史の総合的な考察や歴史を考察し表現する学習を重視する観点から、各時代の内容とかかわりの中で地域社会の歴史と文化をとらえさせるようにした。地域社会の歴史を我が国全体の歴史と結び付けるよう留意して、指導計画を作成することが重要である。」とした上で、指導に当たっては、様々な学習方法の工夫が望まれるとして、その中で「現地での文化財の観察など『歩く、見る、聞く』こと」をあげています。このことこそ、日本史学習において、歴史の『現場』に立つことが重要視される証左と言えるのではないのでしょうか。

●歴史の『現場』に立つことの意味

多くの地域史の成果が通説とされ教科書ができあがり、生徒の前にやってきます。教科書の一つの文章・語句が、現在生徒が生活する地域についてのことであったとします。そのことを教室で学習したあと、現在の歴史の『現場』に行ってみます。その『現場』は中世の『現場』でもあるわ

けです。つまり、生徒は現代の歴史の『現場』に立つと同時に、中世の歴史の『現場』にも立つことになるわけです。

さて、私は、生徒が歴史の『現場』に立つ方法は、次の5つと考えます。

- ①教科書…どんな小さな部分でも自分の生活圏に関係する事項を発見したときの喜びから出発できます。
- ②教師の補説…「ええー、そうなんだ」などの納得から出発できます。
- ③教科書以外の著作…「地域には、教科書には出ていない、こんな歴史があるんだ」という発見から出発できます。
- ④『現場』に行った人の映像(姿)・感想…教師や同級生が『現場』に立っていることを知り、「自分も」という興味・関心を持てます。
- ⑤『現場』に行く…『現場』に立っていること、そして歴史上の人物・事件・事項と自分との親近感が増幅して、より深く学習する動機づけとなります。

●旧跡の保存 ～「史蹟論」にふれて～



▲雲井御所跡(崇徳上皇の遺蹟の一つ)…天保6(1835)年に9代高松藩主の松平頼恕が建立した碑がある。

歴史の『現場』に立つことの重要性は、何も現代人だけが認識していたのではないことをも生徒にあわせて伝えたいです。中世に生きた人々の事績を、近世の人々が顕彰して記念碑を建てます。そして、そこを現代人(今回は生徒も)が訪ねます。つまり、歴史的にも人は歴史の『現場』に立ってきたと考えたいのです。羽賀祥二氏は、19世紀に日本各地で起こってきた歴史的遺蹟の発掘や考証、記念碑建立の活発な動きを検討することで、現代の私たちの歴史

意識の形成過程を分析されておられます(『史蹟論』名古屋大学出版会 1998 年)。そこからは、生徒とともに歴史的遺蹟に建てられている記念碑を訪れることの意味も当然変わってきます。その行動は、教科書に出ていた人物が私たちの身近な所を訪れていたことを確認することにもなるのですが、それ以上に、その時代に生きた(その遺蹟を守ろうとした)人々の歴史的想像力や歴史意識を明らかにすることになると思います。以上のように、私は、全時代の人々が旧跡を保存することを再認識することを含めて、「歴史の『現場』に立つこと」を考えたいと思います。

●「歴史の『現場』に立つこと」を大切にしたい授業実践例

【実践例1】 崇徳上皇と讃岐

～生徒と教師が『現場』に立つ、それを生徒が見る～

①教科書の記述と「山本軍団」の募集

教科書では、崇徳上皇と讃岐について、保元の乱の箇所です。「崇徳上皇は讃岐に流され」という 11 文字です。「坂出高校のある香川県に住む人間として、崇徳上皇の足跡をたどってみよう。」と生徒に提案し、歴史の『現場』に教師とともに立ちたい生徒を募集しました。自称「山本軍団」の立ち上げです。

②巡見とDVD製作

讃岐到着の地、松山津から、在住された雲井御所から白峯御陵までを生徒とともに廻り、すべてを映像(この実践のために高価なデジタルビデオカメラを購入したんですよ)に収め、自宅でDVDに編集しました。



▲白峯御陵(崇徳上皇の御陵)

③特別授業の展開

DVDをクラスみんなで視聴しました。巡見に参加した生徒には「自分が歴史の『現場』に立っている姿をすることで、巡見に参加できなかった生徒には「友だちが歴史の『現場』に立っているところを見ることで」とすべての生徒に感想を求めました。

④生徒にとっての「史蹟論」の発見

「DVDを見ただけでも歴史の奥深さを感じた。…実際に見に行っていたら、もっと歴史を感じられたかも。」

「石碑や寺社、書物などから昔の人々の考え、一生などが読み取れるなんてすごいと思う。そして、それらが現代まで残っていること。自分は、いろいろなことに感動したが、伝説も含めて、次の世代に伝えるため大切に残しておかないといけない気がする。」との感想に生徒自身の「感じて行動する史蹟論」を発見できました。

※なお、この実践の詳細は『全国歴史教育研究協議会研究紀要』第 47 集(平成 23 年刊行予定)を参照ください。

【実践例2】 讃岐の鎌倉文化を追う

～教師が『現場』に立つ、それを生徒が見る～

①「撮影・ナレーション・編集、すべて教師だ!!」

生徒を毎回連れ出すわけにはいかない。そこで、「教師だけが飛び出そう」と考えました。教科書や図表(第一学習社『最新日本史図表 二訂版』以下「図表」)などで「鎌倉文化」を勉強したあと、「先生が先日、讃岐の鎌倉文化を見つけてきた」ということで、教師自作のすごい(?)DVDを視聴しました。

②「鎌倉文化が身近にあった!!」(DVDの内容を紹介)

◆讃岐国分寺の金剛力士像は?

図表 112 頁には「通常は、仁王門に向かって右側が阿形で、左側が吽形である(ただし、東大寺南大門は左右逆)。とありますが、私は「讃岐国分寺では通常だった」ことを報告しました。

◆踊念仏が行われていたはずだ!!

図表 109 頁には時宗一遍の踊念仏の絵が紹介されています。坂出市の隣の宇多津町には、時宗の寺として一遍が復興した郷照寺があります。私は「『一遍上人絵伝』と同じ光景がここ郷照寺でも見られたはずだ。」と、一遍の打ち鳴らす鐘音入りで、踊念仏をまねながら説明しました。

③「教師の歴史の『現場』報告、どうでしたか？」

「歴史の奥深さ、面白さを感じました。ぜひ、行ってみたい。歴史の『現場』に行くと何かを感じることができ、もっと歴史が好きになるだろう。」などの、生徒なりの感想が得られました。

●終わりに ～自分自身の「史蹟論」を～

丸亀市には「法然上人の権堀井戸」という史蹟があります。上記の実践でDVD化して視聴しましたが、次のような感想を寄せてくれた生徒がいました。「見ていて思い出した。井戸の隣に、幼い頃遊んだ公園が映っていた。あそこは、そんな史蹟だったんだ。すごい。」と。この生徒にとっては、この井戸は一生忘れることのない「史蹟」になったのです。

つまり、「歴史の『現場』に立つ」とは、自分自身の「史蹟論」を再確認することだと思います。

●貞観地震

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、未曾有の被害をもたらした(東日本大震災)。この大地震について、専門家の多くは869(貞観11)年に宮城県沖で発生した大地震(貞観地震)との類似性を指摘する。

貞観地震については、『日本三代実録』の清和天皇貞観11年5月26日に「陸奥国、地大に震動りて、流光晝の如く隠映す」(『読み下し 日本三代実録<上巻>』)との記載がある。家々が倒れ地は割れ、城郭倉庫・門櫓垣壁が崩れ落ち、海水が怒涛となって多賀城(宮城県多賀城市)の城下まで押し寄せ、1,000人もの犠牲者をだした。

東北大学の箕浦幸治氏や産業技術総合研究所などの研究で、津波によって運ばれ堆積したと推定される貞観期の砂層が、当時の海岸線から3～4kmも内陸まで分布していることがわかった。この砂層は福島県相馬市でも発見されており、貞観地震は、マグニチュード8以上の規模で発生し、大規模な津波をともなったことがわかっていく。また、仙台平野の海岸では、最大9mに達する津波が7～8分間隔で繰り返し襲来したことや、相馬市の海岸にはさらに大きな津波が襲来したことも推定されている。

仙台平野の表層堆積物中には、厚さ数cmの砂層が3層あり、1番上は貞観地震の津波堆積物であることが確認されている。この3層の砂層の放射性炭素による年代測定をおこなった結果、大きな津波が800～1100年に1度発生していることがわかった。貞観地震の津波からすでに1100年余りの時を経ていることもあり、ふたたび宮城県沖で巨大な地震と津波が発生する可能性が、専門家の間で懸念されていた。

●研究対象としての地震

地層を掘りだし、そのなかの堆積物を詳しく観察し解析することによって、過去の巨大津波の痕跡を見つけることができる。過去の津波浸水域を明らかにすることは、地震の震源となった海底断層の位置や地震の規模を推定するために重要な情報となる。震源の断層が推定できれば、将来の津波浸水予測が可能になり、防災対策にいかすことができる。将来予測はこうした研究の最大目的の一つでもある。

●三陸津波

東北地方太平洋沖地震で大きな被害をこうむった岩手・宮城や青森の3県にまたがる三陸海岸は、たびたび

大きな津波にみまわれてきた。1896(明治29)年6月15日、三陸沿岸から約200km沖合でマグニチュード8.5前後の巨大地震が発生、それにとまなう津波が約35分後に三陸海岸に押し寄せ、岩手県沿岸を中心に1万戸近い家屋が流され、死者約2万2,000人をだす被害をもたらした(明治三陸地震)。

1933(昭和8)年3月3日、1896年と同じ三陸沖200kmを震源とするマグニチュード8.1の地震が発生、岩手県・宮城県・青森県に大きな被害をもたらした。死者約3,000人で、被害家屋は7,000戸をこえた(昭和三陸地震)。

1960(昭和35)年5月23日、南米チリ沖で地震が発生。ハワイでは60名の死者をだすなど、地震にとまなう津波が太平洋上に広がった(1960年チリ地震)。マグニチュード9.5は観測史上最大のもので、津波は、5月24日に日本に到達、三陸海岸を中心に、死者は106人、被害家屋は約4,700戸にのぼった。津波の到達は、地震発生から約22時間30分後のことであった。

度重なる津波被害の経験から、住宅の高所への移転がすすめられ、また、各被災県が中心となって、防潮堤や防潮林が設置され、安全地帯への避難道路も整備された。県は「地震津波の心得」といったパンフレットを作成し、高い所に身一つでのがれることなどを呼びかけている。各町村において、独自に津波にむけた避難演習も頻繁におこなわれるようになった。しかし、1960年の津波は、「津波は地震直後に発生する」という経験で得た常識を覆すものとなった。気象庁はハワイでの津波発生情報を入手したが、日本には影響なしと判断。津波警報発令がだされたのは、津波到達から約1時間30分後のことだった。

●文化財保護をめざした取り組み

宮城県内の歴史研究者や大学院生などを中心に組織された宮城歴史資料保全ネットワークは、2003年7月に発生した宮城県北部地震によって被害を受けた文化財の救済活動を契機に設立されたNPO法人で、自然災害などさまざまな事情により危機に直面している歴史資料の救済活動にあたっている。東北地方太平洋沖地震発生後、ただちにホームページ上で、被災した歴史資料(写真・アルバム、古文書、仏像など)の応急処置をよびかけ、その方法について説明をおこなっている。

(<http://www.miyagi-shiryounet.org/>)

●はじめに

ドイツが大好きで年に必ず一度は訪問している。地元の人たちとの文化交流がメインであるが、その行事の前後は個人的に興味のある場所を見て回るのが常である。何度も同じ土地を訪問していると、興味や関心も自然に増えてくるから、かなりハードスケジュールになる。そんな中でも必ず立ち寄るのはワインセラーである。

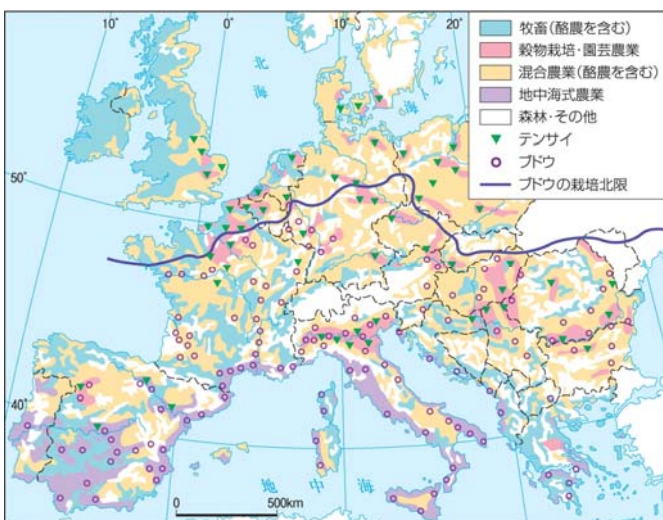
●ドイツのブドウ栽培

ドイツは耐寒性のジャガイモやライ麦などを除いて、農耕には決して優れた条件を有しているわけではない。ラテン諸国に比べて料理のレベルが落ちるのもこのことに起因している。中世以来の三圃式農業から混合農業への移行も、もともと土壌が肥沃でないことに発する輪作経営の工夫であり、乏しい食材からは洗練された食文化を生み出すことは難しいのである。

ドイツにおけるブドウ栽培も同じで、自然条件はイタリアやフランスに比べると概して劣悪である。しかし、そんな中にも例外はある。古代ローマ人はワイン醸造に適したブドウ栽培地を見つけるためにドイツ国内にも足を踏み入れた。そこで辿り着いたのがモーゼル河畔である。

ヨーロッパにおけるブドウ栽培の北限はおよそ北緯50度ということになっている。モーゼル川はまさにこの北緯50度線を跨いで流れているのである。すなわちそこは、ブドウの栽培限界地なのである。

◆ヨーロッパの農業地域（『改訂版 地理A』p. 98図③、一部修正）



このヨーロッパの農業地域図を見てもらえばわかるが、ブドウの栽培北限がドイツの部分で北に大きく山を描くよ

うに曲がっている。暖流の影響を受けにくい内陸部でどうして栽培地域が北に伸びているのだろうか。そこには3つの大きな理由がある。

★理由1ー穿入蛇行

穿入蛇行とは、山地内で蛇行した河川が深い河谷を形成しているもので、モーゼル川はその典型である。日中に温められた河川水が夜間に放射熱を発し、その暖かい空気が河谷に充満するのである。河谷に南面する山の斜面は日照時間も比較的長く、ブドウが成熟するのに適した自然条件を与えている。

★理由2ースレート

モーゼル河谷の山地にはデボン紀の古いスレート(粘板岩)の風化したミネラル分の豊富な土壌が堆積している。そしてブドウ畑には地表にびっしりとスレートが敷き詰められている。このスレートが河川水と同様に日中温められ、夜間に放射熱をブドウ畑に放つのである。



▲スレートをいっぱい敷き詰めたモーゼルのブドウ畑

★理由3ーリースリング

リースリングはドイツ原産の白ブドウで、冷涼地での栽培に適しており、スレート土壌を好み、晩熟で耐寒性に優れた品種である。ドイツのような寒冷地域でゆっくりと育つことにより、アルコール度が10度前後に控えられた世界市場においてもトップクラスの白ワインを産出している。

●ラインガウ

モーゼルと並ぶドイツにおける格の高いワイン生産地はラインガウである。フランス国境から北流してくるライン川が、マインツの地点から西流する約20 kmの北側一帯がラインガウである。ライン川の北側にはタウヌス山脈が連なり、南向きの斜面を形成している。そこにライン川の水面に反射した太陽光を利用した優れたブドウ畑が広がっている。ここにもまた、ドイツ有数の醸造所が多くある。



▲ラインガウのブドウ畑に立つ北緯50度の標識

●ドイツワインの特徴

ドイツワインの特徴は、アルコール度数が低く、フルーティーで甘く、酸が利いているところにある。だから初心者でも抵抗なくいただくことができるし、いろいろな料理に合わせることができる。甘みがあるから冷やして単独でもいただける。

同じリースリング種を使っても、ドイツ以外の国では決してドイツワインと同じ特徴を持ったワインを造ることはできない。かつてオーストラリア産のリースリングで醸造されたワインをいただく機会があったが、リースリングの特徴が全く生かされておらず、落胆したことを覚えている。

フランスのワイン市場における戦略にドイツが負けてから、日本はもとより、世界のワイン嗜好は辛口へと変わっていった。しかし、日本やイギリス、アメリカでは今でも根強いドイツワインファンが多く、日本の高級レストランやホテルでもドイツワインを置いていところが多い。

リースリングは甘口で、しかもモーゼルやラインガウで生産されるからこそ、その特徴を生かすことができるということを生産者自身がもっともよく知っているはずなのだが、近年、ドイツの醸造所自体が辛口の生産を進めるといいう、全く好ましくない状況が生まれている。辛口で勝負してフランスやイタリアに勝てるはずはないのである。

●ブドウ畑の名称

ドイツのブドウ畑には他国に見られない風流な名称が付けられている。ワインラベルの表示には生産された村名とブドウ畑の名称、それにワインのランクが書かれている。最初は難解に思えるが、慣れるとこれほど便利なものはな

い。たとえば、日本で一番有名なドイツワイン「ツェラー・シュヴァルツェカッツ」は“ツェル村産の黒猫”という意味である。もちろんその畑には黒猫にまつわる物語が存在している。他にも“裸のおしり”，“兄弟分”，“ヒキガエルの泉”（実際にブドウ畑の中に泉がある）など、おもしろい名称の畑がたくさんある。名前にこだわるのは地理教員の性分であろうか。そんなところにもドイツワインの楽しみがある。



▲オッペンハイマー村の“ヒキガエルの泉”

●ワインの格付け

ドイツワインの格付けは明解である。ここでは生産地限定の格付け上質ワイン(Q. m. P.)について紹介する。Q. m. P. は6段階に分かれている。以下、表記の順に収穫時期が遅くなり、糖度も高くなる。当然価格も下にいくほど高い。

- ・カビネット
- ・シュペートレーゼ(遅摘み)
- ・アウスレーゼ(房選り)
- ・ベーレンアウスレーゼ(粒選り)
- ・アイスヴァイン(凍結ブドウを使用)
- ・トロッケンベーレンアウスレーゼ(乾果粒選り)

料理に合わせるなら、シュペートレーゼまでがよい。そこから下はデザートワインとして、あるいは単独でいただきたい。特に、トロッケンベーレンアウスレーゼは世界三大貴腐ワインの一つとして珍重されている。ちなみに格付けされない生産地限定の上質ワイン(Q. b. A.)はあっさりとしており、価格も手頃で、量販店で容易に入手できる。

●おわりに

ブドウの栽培地域についてはなお一考の余地がある。イギリスでも南部の沿岸地域には立派なブドウ畑があり、ワインも生産されている。また、ベルリン郊外のポツダム(アムステルダムとほぼ同緯度)にあるサンサーシ宮殿前庭のブドウ畑は有名である。さらにルイ14世をして「王のワインにして、ワインの王である」と言わしめたハンガリーの貴腐ワイン産地であるトカイもまたブドウ栽培の北限地にある。そんな話題を織り交ぜると楽しい授業ができると思う。

●マグニチュードとは

マグニチュード(M)は地震の規模を示す尺度で、地震計で測った地面の最大振幅を計算して決められる。測る波の周期によって色々なマグニチュードが定められており、日本では気象庁マグニチュード(M_j)と呼ばれるマグニチュード(地震波の周期5秒以下)が普及している。M_jは4.5～7.5程度の地震の規模を正確にあらわすことができるが、それを超える巨大地震は地震波の周期が長い(5秒以上)ため、地震の規模を正確に測定できない(マグニチュードの飽和)という問題があった。

そこで考え出されたのが、巨大地震でも飽和することがない、モーメントマグニチュード(M_w)である。M_wは、ずれ動いた断層の面積とずれ動いた距離を掛けて計算し、物理的に地震の規模をあらわすことができる。また、津波は、断層運動がゆっくり進行したり、地震によって大規模な海底地すべりが起きたりすることにより発生するため、M_wは津波を伴う地震かどうかを識別する一つの目安にもなる。そのため、普及がめざましいが、規模の小さい地震の値を正確に出すことは困難であり、また複雑な計算を必要とするため、地震発生後直ちに発表をおこなうことが難しいといった面もある。

マグニチュードが0.1大きくなるとエネルギーは1.4倍、1大きくなると約32倍になる。阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)のマグニチュードを、モーメントマグニチュードに換算するとM_w6.9となり、東北地方太平洋沖地震はその1,400倍のエネルギーだったことになる。

●マグニチュードと震度の違い

マグニチュードが地震の規模を示すのに対し、震度はある地点における揺れの程度を示す。かつては体感や周囲の状況から定められていたが、1996年以降、計測震度計によって自動的に観測されている。気象庁が発表する震度は、全国の約4,200地点に設置された震度観測点で観測した震度によっており、10階級からなる。

●世界でも数例の巨大地震

東北地方太平洋沖地震では、日本国内の地震において初めてM_wが使用され、気象庁はM_w9.0と発表した。世界でもマグニチュードが9.0を超えたのは、1960年のチリ地震(M_w9.5)、1964年のアラスカ地震(M_w9.2)、2004年のスマトラ沖地震(M_w9.1)など数例であるが、今回の地震はこれらに次ぐ、世界で4番目の規模だった。従来、マグニチュード9を超える巨大地震は日本ではほとんど起こらないとされてきたが、プレート境界に位置する日本列島の防災対策は、見直しを迫られている。

◆震度と揺れなどの状況 (気象庁資料ほか)

震度	人の体感・行動や屋内外の状況
0	・人は揺れを感じない
1	・屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる
2	・屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる
3	・屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる
4	・ほとんどの人が驚く ・電灯などのつり下げ物は大きく揺れる ・座りの悪い置物が、倒れることがある
5弱	・大半の人が恐怖を覚え物につかまりたいと感じる ・棚にある食器類や本が落ちることがある ・固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れる
5強	・物につかまらなないと歩くことが難しい ・棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる ・固定していない家具が倒れることがある ・補強されていないブロック塀が崩れることがある
6弱	・立っていることが困難になる ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある ・ドアが開かなくなることがある ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある
6強	・はわないと動くことができず、飛ばされることもある ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる ・大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生する
7	・ほとんどの家具が大きく移動し、飛ばすものもある ・ほとんどの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する ・補強されているブロック塀の破損もある

解説③に関連するホームページのURL

気象庁－地震情報◆<http://www.jma.go.jp/jp/quake/>

最新の地震情報のほか、地震に関する資料や過去に地震のデータベースなども公開している。